



2015年5月22日

秦野市環境保全課

課長 橋本晋一様

渋沢丘陵を考える会
秦野の自然と環境を守る会
秦野のホテルを考える会
さんげつ会

ノスリの保護にかかわる工事中止の緊急申入れ（骨子）

1 5月21日午後1時、私たちは電波塔と竹山を結ぶ尾根で2羽のノスリが離れたり近づいたりしながら複雑な飛翔をし、求愛給餌とみられる行動を行うのを観察しました。ちょうど伐採地と未伐採林の境界で地上5～20メートルの間でした。（5月13日17時20分にも同所の樹上すれすれに波状飛行するノスリ1羽を観察しました）。

3 これは一般的に、現在育雛中のつがいとは別のつがいが飛翔地からそう遠くない地点に営巣し産卵直前にある可能性を示しています。（またはすでに1卵を産卵している可能性があります）。

事業者側に早急に確認するための調査・観察体制をとるようご指導くださるようお願いいたします。

4 事業者は「工事に起因する要因により対象猛禽類の繁殖に悪影響が及んでいる可能性が認められた場合には、工事の一時中止などの配慮を行う」（経営許可申請書別添資料）と述べています。このまま墓地本体区域の伐採や土地の改変を行うことは工事圧の影響および採餌場の縮小・消失などがら営巣放棄または繁殖失敗の可能性が極めて大きいことから、雛が独立して繁殖期が終わるまで速やかに工事を中止するよう強力に指導するようお願いします。

5 市当局も3月市議会で「ノスリに悪影響がでた場合、工事の一時中止を指導すべきだがどうか」との一般質問に対して「必要に応じて、工事の変更、一部中止はやむを得ないと考える」と答弁されています。現在がまさにそのときであります。古谷義幸市長も、このような場合には市として事業者を指導することを機会あるたびに表明されてきました。

6 神奈川県オオタカ保護指導指針によれば、県レッドリストで繁殖期絶滅危惧Ⅱ類のオオタカの場合、平成16年には県内の営巣地61カ所のうち36カ所で繁殖が確認され、その後増加傾向にあるとのこと。一方、専門家によれば同じ繁殖期絶滅危惧Ⅱ類のノスリの最近の繁殖地は5カ所程度とのことで、オオタカより7倍も絶滅危惧性がたかく、いまや絶滅寸前という文字通り存亡の危機に直面している種です。

工事もノスリの繁殖も今限りで終わるものではありません。事業者にたいする市の大局的な観点にたった毅然として継続的な指導が求められています。ご多忙中のところ誠に恐縮ですが、市のご指導の内容と結果について早急にご回答くださるようお願い申し上げます。

以上

連絡先は次の通りです。

257-0013 秦野市南が丘2-2-6-204

小日向 彰

電話 81-5476 (FAX兼用)